

Rotary

安城ロータリークラブ

週報



【No.670 2015/2 第2例会】

例会日：毎週金曜日

例会場：碧海信用金庫本店3F
安城市御幸本町15-1

TEL: 0566-75-8866
FAX: 0566-74-5678

Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp
HP: <http://www.anjo-rc.org>

第2811回例会

2015年2月13日(金) 12:30~13:30

司会者：大嶽 岩雄君

ソング：「手に手つないで」「四つのテスト」

卓上花：フリージャー

ゲスト及びビジター：

ニシワキ ケンジ
西脇 謙二様 岡崎東RC

2014-2015年度RIテーマ：

「ロータリーに輝きを」

安城ロータリークラブ会長方針：

「楽しいロータリーを創ろう」

- 会長：永谷 文人
- 幹事：横山 真喜男
- クラブ会報：亀島深里・辻隆士・海野広明
- 創立日：S33年1月10日
- RI加盟認証日：S33年2月6日



2015年ロータリー国際大会
サンパウロ(ブラジル)公式マーク

■ 会長挨拶

永谷 文人会長

① 絵手紙紹介



② 会員紹介

◆(学)安城学園 寺部 暁君



◆小野内会計事務所 小野内 宣行君



「第30回安城市民デンパーク駅伝大会」



■ 幹事報告

横山 真喜男幹事

1. 2/16(月)理事委員長懇談会を19:00～川本にて行います。
2. 2/20例会終了後に予定しておりました、ロータリー情報の勉強会は行いません。
次回は3/13(金)18:30～川本にて、ファイヤーサイドミーティングとなります。

■ 出席報告

山田 庸雄君

会員	61名
出席義務者	46名
出席	36名
欠席	10名
出席免除者の出席	11名
出席率	82.45%
修正出席率	1月30日 第2809回 96.6%

■ ニコボックス報告

原田 慶三郎君



■ 卓話

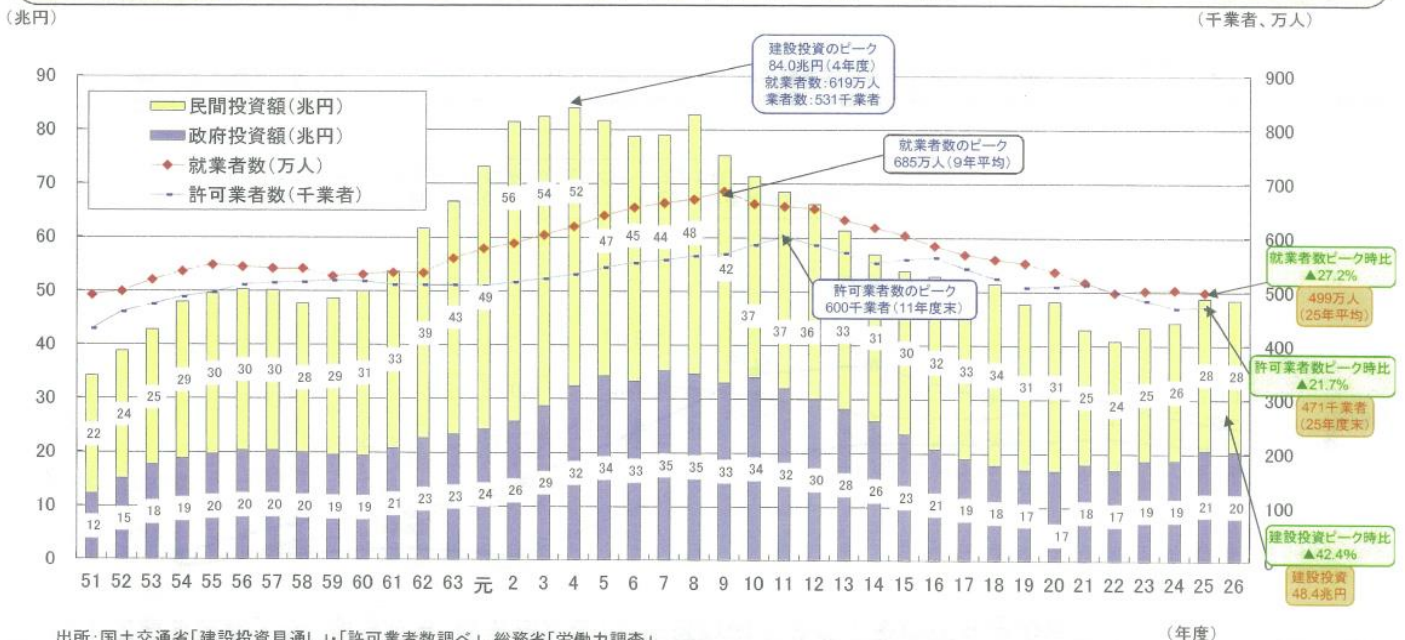
担当:成瀬 介宣君

【テーマ】 最近の建設業アラカルト



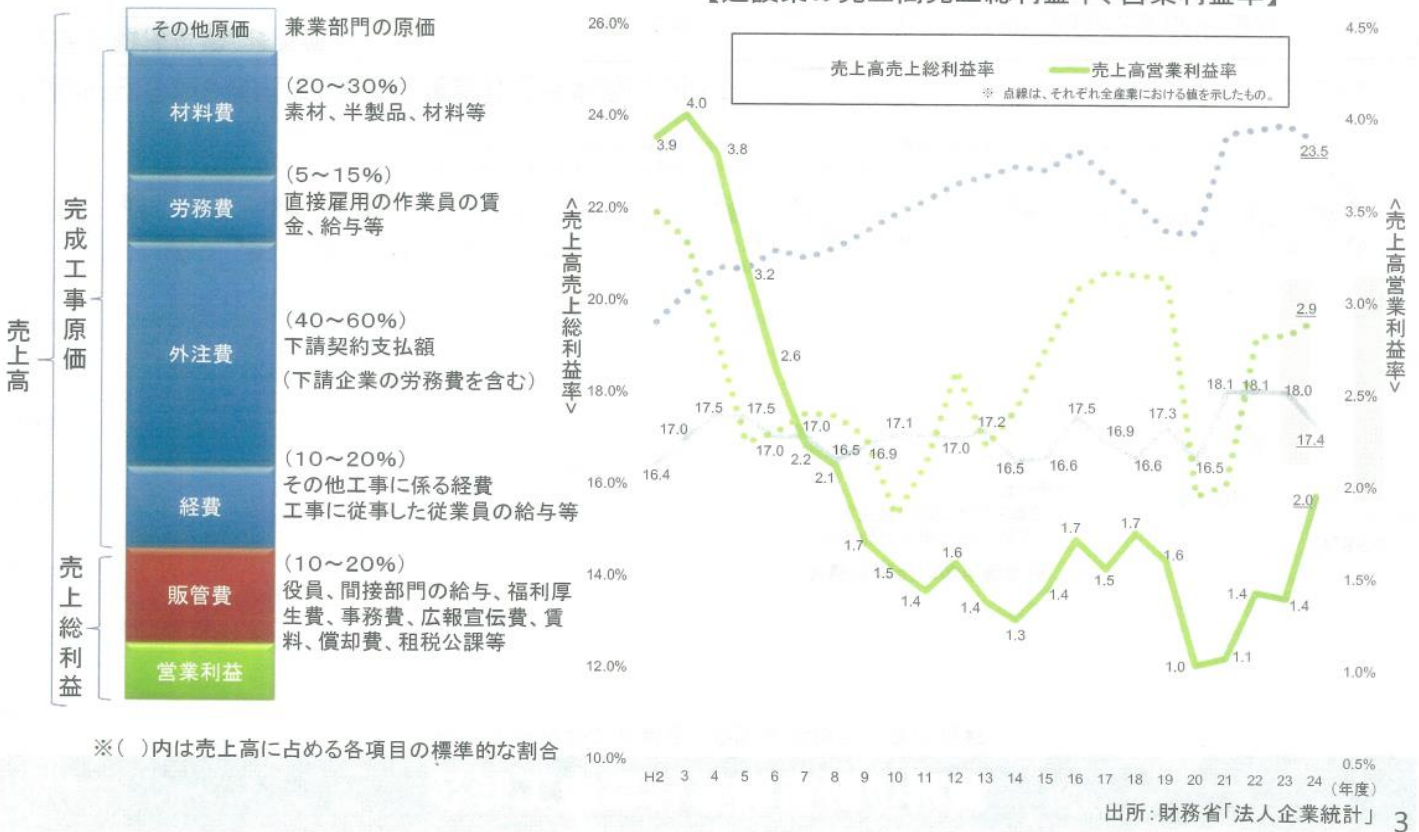
建設投資、許可業者数及び就業者数の推移

- 建設投資額はピーク時の4年度:約84兆円から22年度:約41兆円まで落ち込んだが、その後、増加に転じ、26年度は約48兆円となる見通し(ピーク時から約42%減)。
- 建設業者数(25年度末)は約47万業者で、ピーク時(11年度末)から約22%減。
- 建設業就業者数(25年平均)は499万人で、ピーク時(9年平均)から約27%減。



建設業の売上高売上総利益率、営業利益率の推移

【建設業の売上高売上総利益率、営業利益率】



※ ()内は売上高に占める各項目の標準的な割合

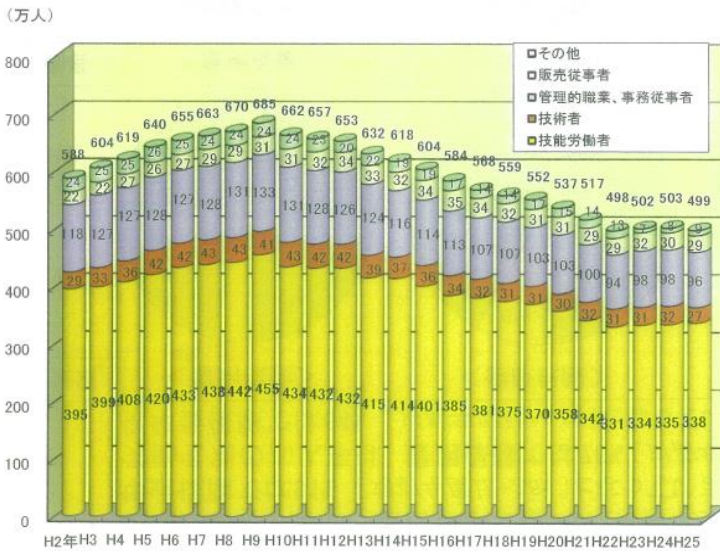
建設業就業者の現状

技能労働者等の減少

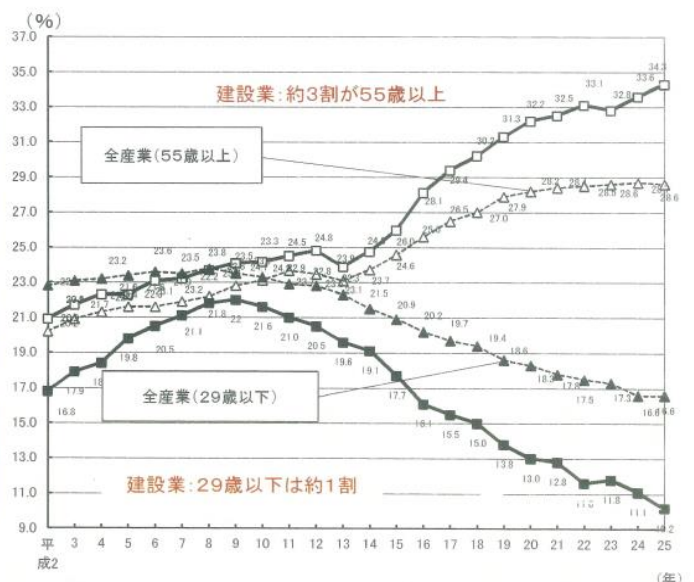
- 建設業就業者：685万人(H9) → 499万人(H25) ▲186万人(▲27%)
- 技術者：41万人(H9) → 27万人(H25) ▲16万人(▲34%)
- 技能労働者：455万人(H9) → 338万人(H25) ▲117万人(▲26%)

建設業就業者の高齢化の進行

- 建設業就業者は、55歳以上が約34%、29歳以下が約10%と高齢化が進行し、次世代への技術継承が大きな課題。
- ※実数ベースでは、建設業就業者数のうち平成24年と比較して55歳以上が約11万人増加、29歳以下が約5万人減少(平成25年)



出所：総務省「労働力調査」(暦年平均)
(※平成23年データは、東日本大震災の影響により推計値。)



出所：総務省「労働力調査」

高齢者の引退、若年者の入職減

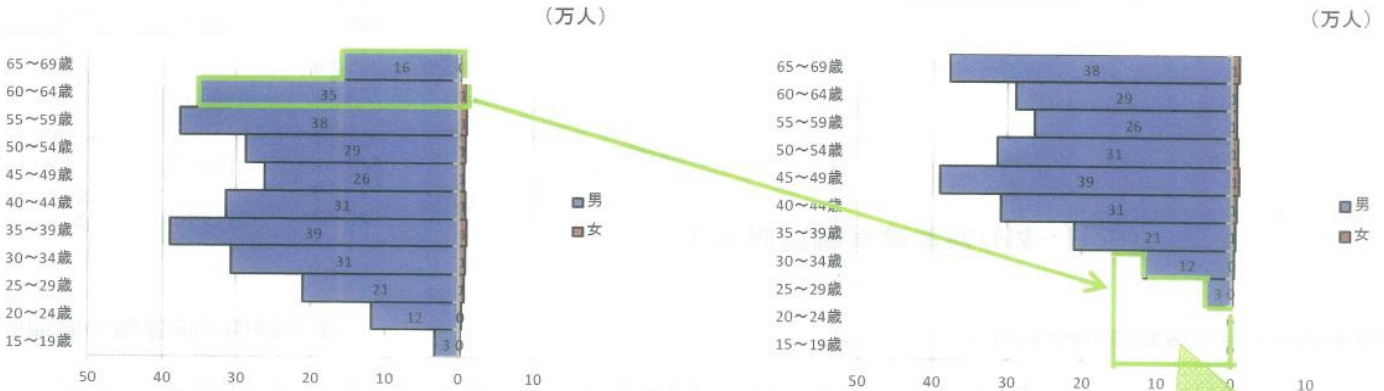
- 現在、**60歳以上**の建設技能労働者等は**52万人**存在し、全体の**約18%**に上ります。
- **今後も**引退による**労働者数の減少は続き**、**10年後**には、大半が引退することになります。
- 他の年齢層においても年齢の上昇が見込まれます。→ **若年入職者の確保が課題**です。

※ なお、一定の能力を備えた技能労働者等を育成するためには、職種にはよるものの、概ね10年程度の時間がかかると言われています。

平成22年の
建設技能労働者等の人口ピラミッド



10年後の
建設技能労働者等の人口ピラミッド
(想定)



これだけの技能労働者を、
若年入職で補填しなくてはならない。

出典: 総務省「国勢調査(2010年)」

7

建設産業の役割と課題

建設産業の役割

建設産業は、**地域のインフラの整備やメンテナンス等の担い手**であると同時に、**地域経済・雇用を支え、災害時には最前線で地域社会の安全・安心の確保を担う地域の守り手**として、国民生活や社会経済を支える大きな役割を担う。

【災害の応急対応】

○(社)仙台建設業協会
3月11日地震直後より避難所の緊急耐震診断等を実施。
同日午後6時には若林区の道路啓開作業を開始。



作業後

【インフラメンテナンスの必要性】

▼社会資本の老朽化による被害



【ミシシッピ川に係る高速道路橋の落橋事故 (2007年米ミネソタ州)】(出典: MN/DOT)



香川・徳島県境無名橋(鋼2径間単純トラス橋)の落橋(2007年)

現下の建設産業を取り巻く環境

近年の建設投資の急激な減少や競争の激化等により、建設企業の経営を取り巻く環境の悪化と、現場の技能労働者の減少、若手入職者の減少といった構造的な課題に直面。

中長期的なインフラの品質確保等のため、国土・地域づくりの担い手として、持続可能な建設産業の構築が課題。